

福井大学同窓会中国支部から、支援物資が届きました

4月13日(月)14日(火)に、福井大学同窓会中国支部から医学部に、「附属病院で使用してください。」と、ホギのN95マスク、600枚の寄附がありました。今後も、支援物資が届く予定です。感謝!!

発端は、紹興市人民病院の孫愛静医師（2003年3月医学博士(福井医科大学)）より、「福井大学同窓会の浙江支部の支部長として、新型コロナウイルス感染者の福井での増加という報道を受けて、感染を防御できるような物資の寄附をしたい。我々中国支部では義捐金を募って、これら必要物資の購入と寄附を行いたい。」とのメールが国際課に届いたところからです。



4月13日(月)
内木医学部長が受け取りました



4月13日(月)は、内木医学部長から
森岡物流管理部長にお渡ししました



4月14日(火)は、国際課増田さんか
らSPD担当者にお渡ししました

箱に記載のあった「飲水思源」は、日中国交正常化の際に訪中した田中角栄首相を周恩来首相が迎えた際にも用いられた四字熟語だそうです。直訳は、水を飲む際にその源を思え→井戸の水を飲む際には井戸を掘った人の苦勞を忘れてはならない。ここから、物事の基本を忘れてはならない。また、他人から受けた恩や、先人の苦勞を忘れてはならない、という意味があるそうです。